

様式第1号(第6条関係)

西予健発第107号  
令和元年8月16日

総務企画部総務課長  
山住 哲司 様

生活福祉部  
健康づくり推進課長 沖村 智

会 議 要 録

名 称	令和元年度 第2回 西予市自殺対策推進協議会	
事 務 局	生活福祉部 健康づくり推進課 健康推進係	
	電 話 0894-62-6407	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和元年8月7日(水) 16:00~17:10	
開 催 場 所	西予市教育保健センター4階 会議室	
出席者	自殺対策推進協議会委員	会長 井関満永、副会長 河野敏雅、 委員 竹内豊、松多克紀、兵頭秀二、清水宏和、兵頭充、 西口千年、高石徳香、稲井稔己、薬師寺和枝、兵頭豊司、 河野秀雄 計13名
	その他	藤井兼人、小林友枝(八幡浜保健所)
	事務局	沖村智、井上理恵、佐々木靖子、二宮真紀、福岡美緒、芝江梨
議事内容 議事内容(要旨)	開会(司会:健康づくり推進課井上課長補佐)16:00 1. 会長挨拶(井関会長) 2. 議事(議事進行:井関会長) ①西予市自殺対策計画策定の進捗状況について(事務局:二宮) 当委員会後、8月中にパブリックコメントを求め、計画書作成後は計画書及びダイジェスト版を作成。 ダイジェスト版は市民に全戸配布予定 ②西予市自殺対策計画(案)について(事務局:二宮) ③質疑応答その他 事務局から説明後、各委員と意見交換を実施した。 ・基本施策5と具体施策事業名が一緒だが事業名はこの名称で	

	<p>いいのか。→（事務局：二宮）事業の児童生徒の SOS の出し方に関する教育は小学校・中学校、生命尊重に関する教育は西予市養護教員部の事業である。内容がほとんど一緒のため、まとめて記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺者数推移への評価だが、数字にとらわれた評価はよくない。</li> <li>・法人後見事業は何をするのか。→（河野副会長）まだ具体的な事例はないがこれから取り組んでいこうと思っている。</li> <li>・西予市は高齢者の自殺が高いとなっているが、高齢者が多いためそう見えるのでは。→（事務局：二宮）西予市の高齢化率は高いが、高齢者の自殺者も他と比較しても多い。</li> <li>・職域でメンタルヘルス対策ができていない所が多いと指摘があるので、このことに対してどこが対策をとるのか。→（事務局：二宮）メンタルヘルス対策は健康づくり推進課が普及啓発していくべきだと考えている。</li> <li>・自殺を考えている人が行政に相談するのは勇気がいる。身近に相談できる人がいればいいのと思う。→（事務局：二宮）基本施策の人材育成のところで、ゲートキーパーの養成講座に力を入れようと思っている。福祉関係者だけでなく色々な人に受けてもらいたいと思っている。</li> <li>・人材育成が大切であると感じる。地域の方誰もがちょっとした相談相手になれる地域のゲートキーパーになる取り組みが必要だと思うので積極的に取り組んでほしい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">質疑応答その他終了</p> <p>事務局：二宮</p> <p>皆様から頂いた意見をもとに計画書を修正し、計画策定をしていく。修正した自殺対策計画書については、会長と副会長に内容を確認して頂き、確認して頂いたことをもって西予市自殺対策推進協議会でご承認して頂いた事とする。</p> <p>全員挙手にて承認を得る。</p> <p>閉会（河野副会長）17：10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺の原因に対する対策が大切だと考える。</li> <li>・自殺対策計画を有効に活用して自殺予防に取り組んでいく。</li> </ul>
備 考	